



無所属
板橋区
議会議員

しいなひろみ 楽しいな通信

ご報告枚数
1,125,810枚
前号までにお届けした
枚数です

親子
4代地元

こんにちは、板橋区議会議員のしいなひろみです。お陰様で、この楽しいな通信の発行も前号までで110万枚を突破しました。今号では、昨年11月に登壇しました一般質問の概要をご報告させていただきます。議会における行政側との質疑応答は、区民の皆さまからのご要望に基づく施策を実現するための重要な機会となります。そのためには、現状把握を含めた事前の調査研究、関連施設への視察等を充分に行い、限られた制限時間の中でより良い結果を導くことに毎回注力しております。引き続きのご支援ご指導を、心よりお願い申し上げます。

しいなひろみは区民相談を随時受付中!

区議会議員の職務は議会活動だけではありません。区民に常に寄り添い、区民の皆さまのお困りごとに耳を傾け、様々な問題を議員自らが動いて解決することが、重要な責務であると私は認識しております。日々の生活の中で、お仕事の中で、困ったことがございましたら、ご遠慮なくしいなひろみまでお知らせください。ご連絡をお待ちしております。



区民相談事例

- 区の給付金、補助金等の申請方法や窓口を教えてください
- 近くに空き地、空き家があって困っている
- 歩行者が危ない道があるので、歩道の整備をしてください
- 放課後児童クラブの定員を拡大して子どもが入れるようにしてください
- 高齢者福祉用具の補助制度や移動支援について教えてください



しいなひろみ区民相談窓口

☎ 080-5187-7224

✉ hirorin@orion.ocn.ne.jp

しいなひろみ公式HPのお問い合わせフォームからも可能です



公式HP

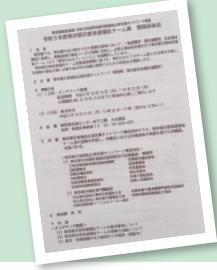
しいなひろみの活動報告

大規模災害時に要配慮者への福祉的支援を行う「東京都災害派遣▼福祉チーム(東京DWAT)」の研修に参加

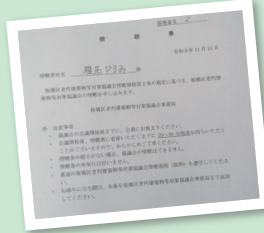
◀板橋区老朽建築物等対策協議会を傍聴



▲病気の子どもを育てるお母さん、家族を守る「NPO法人キープ・ママ・スマイリング」視察



◀国民健康保険制度や専門領域でもある介護保険制度についてのセミナーに参加



▲文京区の行方不明認知症高齢者ゼロ推進事業の取り組みを視察
◀透析治療の現状と課題について東京都立豊島病院を視察



令和5年第4回定例会一般質問概要

1 地域課題について

しいな質問要旨

◆東武練馬駅ホームドア、東口改札へのエレベーター設置

東武練馬駅東口の改札に関して、徳丸タウンブリッジの先に居住している方々からは大変便利になったと喜びの声が上がっている一方、この改札口を常時利用できるようなためのユニバーサルデザイン工事などは十分にされていない為、ベビーカーや歩行器、車いす利用の方は今まで通り、ぐるっと移動し北口改札から駅を利用する状況が続いています。不動通り、ときわ通りからエレベーターを設置するには法律の壁もあり大変厳しい状況のようです。区としてはどのように考えているのでしょうか。



区長答弁要旨

不動通りからのエレベーターの設置は、車椅子やベビーカーを利用する方など、多様な人にとって駅の利便性向上につながるものと考えています。今後も引き続き、設置に向けて、東武鉄道に対しまして粘り強く働きかけをしていきたいと考えています。

しいな質問要旨

◆郵政官舎跡地の防災機能も兼ね備えたインクルーシブ公園設置

徳丸三丁目には公園と言われるものが2か所しかありません。郵政官舎跡地は約1800㎡と広いスペースを2方向の道路が通り立地も駅に近く大変良い場所にあります。この敷地を災害時の防災拠点や赤ちゃんからお年寄り、車いすの方と多世代が利用できるインクルーシブな多機能公園にしてください。是非この敷地を公園取得のために日本郵便に働きかけて下さい。



区長答弁要旨

ご指摘の跡地につきましては、地域の方々からも要望があり、公園としての活用について区としても関心を持って情報収集に努めています。現段階においては、所有者から活用計画や売却の可能性などの意向が示されていないために、区としても対応方針は定まっていません。公園に限らず、土地の取得や新たな施設整備には区内のバランスや財政負担などを勘案して決定をするが、その前提となる所有者の意向について、引き続き把握に努めます。

裏面に続きます▶

2 空き家対策、老朽建築物の近隣住民支援について

しいな質問要旨

先日、老朽化した空き家の目の前に住む方からご相談を受け現地にお伺いしました。その物件は公道への接道もなく再建築も厳しい環境の場所にあり崩れ落ちそうな朽ちた廃墟となった建物でした。近隣住民の方は24時間365日その被害を受けています。近隣住民はただただ我慢するしかないのでしょうか。タヌキやハクビシンの糞尿の臭い等日々被害を受けている地域住民に対してどのような支援を行いどのように考えているのでしょうか。



区長答弁要旨

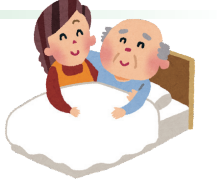
空き家等に関する管理責任はその所有者にあるが、管理が不適切で他人の権利が侵害される土地建物については、令和5年4月に施行された民法の改正により、裁判所に管理人の選任を申し立てることが可能となっている。この財産管理制度の活用については、利害関係者である近隣住民も可能であり、こうした新制度の具体的な手続き等の周知を行うことにより、近隣住民が抱えている問題解決の一助となるようにしたい。

3 第9期介護保険事業計画へ向けての具体的な取組について

しいな質問要旨

◆不足する介護人材の実態調査は推計値ではなく区が早急に行うべき課題

不足する介護人材の実態調査は推計値ではなく区が早急に行うべき課題です。私は介護人材不足の区としての対策を行う中で実数の具体的な調査は必須だと考えています。第8期介護保険事業計画の期間内にどれだけ現場の事業所へ自ら担当部署が足を運び直接意見を聞いたり対策を共に考えてしているのでしょうか。



区長答弁要旨

介護人材の不足については、そもそも事業所運営に必要な人が集まらないことに加え、事業所で働く人が定着をしないことが主な原因とされている。職員の入れ替わりによる流動性が高い介護業界では常時継続的な調査実施は困難な状況。しかし、様々な会議などで介護現場の人材不足の現状や対応策なども聞いており、今後もこれらの現場の生の声に耳を傾けて、施策や事業に反映させる。

しいな質問要旨

高齢者おむつ等助成制度は介護度に応じた上限設定を

介護度が重い要介護4や5の方々は支給される量では足りず自己負担が生じています。一方で生活保護の方は購入したオムツ代の上限も高く一旦購入した分は後日現金で支払われる。特養に入所の方々はオムツ代の負担もありません。高齢者おむつ等助成制度の抜本的見直しを行い要介護4、5の方へは上限を増やし自己負担が生じないような対応を求めます。



区長答弁要旨

高齢化に伴う要介護者の増加や物価高騰に加え、令和6年度には、非課税世帯の現金給付が地域支援事業の対象外となるため、介護保険事業特別会計から一般会計に移行することになり、区の財政負担がさらに重くなる。この状況を踏まえ、要介護度の重度化による紙おむつの必要枚数及び自己負担の増加の実態について現状を把握し、制度全体のあり方を検討していきたい。

しいな質問要旨

介護人材等助成金の介護福祉士実務者研修も拡大へ

令和6年度からは介護人材助成金の補助対象に介護福祉士実務者研修の研修費も補助対象となる方向性と知りました。これに関してはその必要性についても1期目から度々取り上げてきました。区の意気込みを教えてください。



区長答弁要旨

区は、令和2年度より、介護職員 初任者研修の受講料の助成を行いまして、介護人材の裾野の拡充に努めてきた。次期介護保険事業計画の策定に際しては、介護人材の確保及びスキルアップを通じた定着支援を狙いとして、より専門性の高い実務者研修への受講料助成を検討している。

しいな質問要旨

ワーキングケアラー対策 家族の介護をしながら働いている人をワーキングケアラーと言います。少し古いですが、総務省統計局がまとめた「平成29年度就業構造基本調査結果の概要」では、介護をしている人の半数以上がワーキングケアラーということが示されています。仕事と介護の両立に限界となり、離職をせざる得なくなる「介護離職」をされた方も多くいらっしゃいます。このような現状を本区ではどのように考えているのでしょうか。

区長答弁要旨

区が実施した直近の調査によると、要介護3以上の同居者を介護する方の約4割が支援を希望しており、大変なご苦労があると認識している。家庭、家族介護の負担を減らすために、要介護度に応じた通所施設や入所施設の活用について、さらなる周知を図っていききたい。合わせて、家族介護者に対する相談機能の充実など、介護離職の防止に向けた支援の実施について検討していきたい。

4 発達に課題のある子ども達への支援、ペアレントメンター導入について

しいな質問要旨

ペアレントメンター(=専門家とは違う視点で同じ親御さんとして葛藤や不安に共感しながら寄り添う事が出来る)は、中野区や新宿区等では、区独自に養成しているそうです。様々な子育ての経験や地域の情報等、同じ親の目線で伝える事が出来る取り組みです。令和4年度の主要施策の成果によると板橋区子ども発達支援センターの個別支援事業で「ペアレントトレーニング」を実施しています。今後は更なる親御さんの支援で発達に課題のあるお子さんを育てた経験のある親御さんによるこのペアレントメンターを導入してほしいと要望します。



区長答弁要旨

発達に課題がある子供の相談の場として、子ども発達支援センターによるペアレントトレーニング講座や、健康福祉センターでの発達支援のための親の会などを開催している。区が行う関連事業へのペアレントメンター派遣も視野に、引き続き、不安を抱える親に寄り添った効果的な取り組みを検討していきたい。



しいな一般質問の総括

今回も全ての質問に区長自らが丁寧に答えられました。中でも、特に私が注力している介護・福祉分野での、“より区民に寄り添うための施策”に繋がります①介護現場の人材不足に関する更なるヒアリング②要介護度重度の方の紙おむつの自己負担増の実態把握③介護人材の確保及び定着支援を狙いとする、より専門性の高い実務者研修への受講料助成④ワーキングケアラー対策としての家族介護者に対する相談機能の充実や介護離職の防止に向けた支援等、の実施について明言して頂きました。東武練馬駅東口改札へのエレベーター設置等も含め、今後も粘り強く議会内外での働きかけを継続し、引き続き公約した政策の実現に向けて尽力してまいります。

しいなひろみ プロフィール

地元の北野保育園、北野小学校、赤塚第一中学校出身。親子四代板橋区在住。早稲田大学大学院卒業。デイサービスや訪問介護事業の経営、介護教員としてのヘルパーの育成等、長く介護現場で活動。主任ケアマネジャーとして地域で暮らす高齢者の方々と共に歩んで参りました。平成31年4月板橋区議会議員選挙に初当選。

板橋区議会議員 無所属 しいなひろみ

〒175-0083 東京都板橋区徳丸3丁目29番2号

TEL 080-5187-7224 (直通ダイヤル)

FAX 03-3579-2734

E-mail hirorin@orion.ocn.ne.jp

HP <https://shiina-hiromi.com/>

公式HP



板橋区 しいなひろみ 検索